

Rotary Club of

Kawagoe

国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報

vol. 27

会員数 102名	免除出席者 3名	正会員出席者 60名	出席者 63名	早退 0名	出席率 63.64%
----------	----------	------------	---------	-------	------------

プログラム

点鐘(12:30)/ロータリーソング「手に手つないで、R-O-T-A-R-Y」/ビジター・お客様紹介(なし)/卓話講師紹介/会長の時間/幹事報告/委員長報告/ニコニコボックス/出席報告/卓話/点鐘(13:30)〈司会:島村SAA〉

会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人



こんにちは、早いもので明日から2月です。寒い日が続きますが、仕事もロータリー活動も一生懸命やっていきたくと思っています。

さて、このところ（通常国会通も始まり）政治家や社会に影響力のある方々の発言や行動を見ると、あたかも他人事、自分の責任ではない、あるいは評論家のような発言が多く感じられます。どんな発言や考え方にも必ず意味があります。人の発言には当然のこととして責任や影響がともないます。従って、その考えを世の中で実行して実績を上げ、社会のため、地域のために貢献し喜ばれることが重要な事と思っています。

昨年、日経新聞に連載されていた「ふりさけ見れば」に登場し、何度も日本への渡航を試み、盲目になりながらも日本に仏教の戒律を授けるために、苦難を乗り越え唐招提寺を開いた鑑真和上は「一を聞いて十を知るよりも、一を聞いて一を実行に移すべきである」と言っています。今の時代、新しい知識や考え方を、インターネットなどで比較的簡単に勉強し、自分の知識とすることが出来る時代です。そうであるならば得られた知識のうち、何か一つでもよいから実行に移すことが大切であると感じます。実行に移せば何が問題か、何が必要か、そしてその

ことについてより深い理解がえられ、知識がしっかり身につけることができます。さらには実行の結果として、その恩恵を受けた人々から感謝され、それ以後も長く信頼されます。私たちは、社会に認められ、確認されるには言葉だけではなく、実行力を高め、行動に移すことが必要です。そうなるよう皆様と共に頑張っていきたいと思っています。

ロータリーでも、行動計画のうちの、ビジョン声明に、「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界をめざしています」とうたっています。この言葉はロータリーの基本でもありますので、まず、一つから始めてみましょう！

本日の卓話は、戦略計画委員会の担当です。いよいよ次年度も動き始めますので、今年度のまとめと次年度への準備をお願いします。

〈石井会長 各種会合参加報告〉

- ・川越青年会議所 新年総会：1月11日（水）19:00～（ラボアラクテ）
- ・川越商工会議所 賀詞交歓会：1月12日（木）15:30～17:00（川越プリンスホテル）
- ・姉妹都市交流委員会：1月27日（金）16:00～（川越プリンスホテル）小浜市、棚倉町、中札内村、セーレム、オッフエンバッハ、オータン 少年の翼 海外交流事業等の実施
- ・第44回J:COM 東上・川越杯争奪川越市少年サッカー親善大会（斉藤智 部門委員長）1月28日（土）開会式（川越陸上競技場、他）2月18日（土）閉会式（表彰式）
- ・故 大久保敏三様 お別れの会 1月30日（月）11:00～（川越プリンスホテル）令和4年10月8日 享年76歳 でご逝去なされました（2008～09川越RC第58代会長を務める：クラブ細則改正によるCLP組織を導入した。川

越市姉妹・友好都市表示モニュメントを本川越駅に設置等）

幹事報告

2022-23年度 副幹事 栗原雄一



※川越小江戸 RC50周年記念リサイクル 追加募集について。
※配布物 会報。熊平製作所様より「抜萃のつづり その82」。ガバナ一月信11月号。
米山記念奨学金寄付金領収証。
卓話資料（次年度構成案）。

委員長報告

2202-23年度 奉仕プロジェクト部門委員会 委員長 齊藤 智

※1/28(土) 第44回J:COM 東上・川越杯争奪川越市少年サッカー親善大会開会式参加

2/18(土)は閉会式(表彰式)がありますので会員の皆様も是非とも、ご参加下さい。

次週卓話

担当：会員増強委員会

講師：(株)笹木醤油 笹木正司様

演題：「老舗企業の挑戦」

ニコニコボックス（洞井会員より）

- 本日の卓話講師坂口孝会長エレクト、宜しくお願いします。(会長、幹事)
- 本日は、久々に卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。(坂口)
- 坂口エレクト、来年度の構想をお伺いするのを皆楽しみにしています。宜しくお願いします。(西澤、蓼沼、住谷、小杉、水村、齊藤(智)、藤井、小川、八木、西川、片山、栗原、鈴木(壮)、小高、相原、和田、山田(哲)、小城、上原、岩堀、小林、金剛、島村、木澤、鈴木(健))
- 本日、野溝幹事の代役を務めさせていただきます。(栗原)
- 2021年秋叙勲し、昨日コロナで遅れましたが皇居訪問に行ってお参りしました。とても素敵な宮殿でした。皆様のおかげです。ありがとうございました。(立原パストガバナー)
- 昨日、故大久保敏三の「お別れ会」を催す事ができました。ロータリークラブの皆様には、長いお付き合いありがとうございました。(神谷)
- 昨日大久保敏三氏のお別れ会に参列して献花して

きました。(小谷野、坂口)

- 妻の誕生日、お花ありがとうございました。とても喜んでいました。(柏倉)
- 妻の誕生日祝、ありがとうございました。(青柳)
- 早退0名(敬称略)

合計50,000円

出席報告

卓話

担当：戦略計画委員会

講師：会長エレクト 坂口 孝

演題：次年度について



※組織図について

2002年にDLP(地区リーダーシッププラン)が地区に強制導入されCLP(クラブリーダーシッププラン)がクラブに推奨導入された。また、昨今の国際ロータリーの変化にも伴った常設委員会の現状から「会員増強委員会」、「公共イメージ委員会」、「クラブ管理・運営委員会」、「奉仕プロジェクト委員会」、「財団・米山記念奨学委員会」をバージョンアップし、

‘22～‘23年度の構成表(組織図)から変更する。また、各委員会は「理事会」の直接傘下として(前年度は会長の直接の傘下であった)

国際ロータリーの方針に準ずる形に変更する。「委員会サポートメンバー」を新設させて頂き、選ばせて頂いたベテラン各メンバーには特に各委員会の元々の特色や成り立ちを若手の各委員長に話し伝えて頂きたいと思っております。

※会員増強について

国際ロータリーで見られる、「老・壮・青」の分断と同様にならないように各世代の会員がそれぞれの役割を自己理解し、まとまりのある「楽しいクラブ作り」が川越RCを強くすると考えている。また、同時に会員を増やすだけでなく「会員が辞めて行かない」入会した会員個々が強くなれる「本当の意味での増強」がここでの「会員増強」と勘考しております。

※次年度に向けて

2030年目途の国際ロータリー未来形成に向けたRIと日本の各クラブの考え方の大きなギャップを考慮し、CLPに基づき川越RCに合った細則に変更しながら自治権を有効活用し川越RCらしく「元に戻る、基本に帰る」即ち「明るく楽しく美しく」川越RCのクラブ運営を行っていきたく思います。